

# 家庭学習の手引き（中学校版）

## 家庭学習の必要性

学力を向上させ、定着させるためには、授業に真剣に取り組むことはもちろんですが、家庭での予習・復習が必要になります。学校での学習で得た知識は、家庭で復習することで定着するからです。また、学校で学ぶことを前もって予習しておくことが、授業での理解を助けます。ですから、中学校では家庭学習が必要なのです。

学習のポイントや学習の方法を参考にして、自分に合う方法を見つけ、あなたの家庭学習を充実させましょう。

## 家庭学習のポイント

- ・復習予習を大切にしましょう

家庭学習ノートにその日に習ったことをまとめたり、間違った問題を解き直したり、ワークを活用したりして、学習のポイントを整理しましょう。また、あらかじめ自分で調べたり、考えたりしてから授業に臨めば、課題意識も高まり、授業に集中できるようになります。

- ・学習内容が理解できていないと感じたら

- ①分かるところまで戻ってやり直してみましょう。
- ②間違ったところをもう一度やってみましょう。
- ③分からないことは先生や友だちに聞いて理解しましょう。

- ・定期テストを目安に計画を立てましょう

定期テストや到達度テストがいつあるかをカレンダーに書き込み、学校から配布される定期テスト学習計画表をしっかりと活用しましょう。



## 学習時間のめやす

- ・1年生・・・100分以上
- ・2年生・・・120分以上
- ・3年生・・・150分以上

（部活動を引退してからはプラス90分）



## 各教科の学習の方法

### 国語

- 教科書を繰り返し音読しましょう。
- 新出漢字や読めない漢字、意味の分からない語句は辞書を使って調べましょう。
- 学習してきた漢字を繰り返し書いて覚えましょう。(毎日最低100字は練習)
- 授業で使ったノート、プリントやワークを整理し、授業の振り返りをしましょう。

### 社会

- 次の授業で学習する教科書約2ページ分を読んでおきましょう。
- 授業で学習したことをその日のうちに教科書やワークで復習し、重要語句を書いてしっかり覚えましょう。
- 地理…地図を描いて、地形や気候、産業などを書き込みましょう。
- 歴史…歴史の流れがつかめるように、歴史上の人物や出来事を時代ごとにまとめましょう。
- 公民…政治や経済等の仕組みを図式化してまとめてみましょう。専門的な用語の意味をつかみましょう。

### 数学

- 授業で使ったノートやプリントを整理し、授業の振り返りをしましょう。
- 授業で学習した問題をもう一度解いてみましょう。
- 間違えた問題ができるまで繰り返し解いてみましょう。

### 理科

- 授業で使ったプリントやワークを整理し、授業の振り返りをしましょう。
- 学校で学習したことに工夫を加えてノートにまとめましょう。
- 学習した理科用語を正しい漢字で書けるようにしましょう。



### 英語

- 教科書を音読しましょう。(1ページ3回音読→読めない単語のチェックと確認)
- 毎日1ページ英語を書きましょう。(単語、連語、基本文を何度も練習)
- 学校で出された課題(ワークやノートのまとめ等)を確実にやり遂げましょう。
- 新出単語や教科書の本文の意味は辞書を使って調べましょう。

1年 組 番  
2年 組 番  
3年 組 番

---